



北海道で開催される全日本大会。1泊2日で遊び尽くせ！

## 飛行機 + レンタカーが便利

全日本大会の会場となるルスツリゾートは千歳空港から直通バスが便利。約2時間の道のりだ。

だが数人のグループであれば千歳空港からレンタカーを借りるのも悪くない。自由で、よくばりな旅が楽しめる。そんなレンタカーを使ったモデルプランをご紹介します。

東京・大阪・名古屋から千歳空港に舞い降り、レンタカーを受け取ったら、北海道はじめての人は、まず札幌を目指そう。最近のレンタカーにはカーナビが付いているのでガイドに従って走ろう。

## 日本三大がっかり

札幌に向かう途中に羊ヶ丘展望台（入場料¥500）という場所がある。北海道農業研究センターの一角に作られた観光施設。クラーク博士の像で有名だ。昨年日本ハムの優勝に沸いた札幌ドームも近い。

期待して札幌時計台へ行くと、これが絶叫モノ。「日本三大がっかり」のひとつと言われている。どこがどう「がっかり」なのか、ぜひ確認してほしい。

時計台周辺は交通量が激しく、駐車場も無い。時計台から300m西の北海道

庁周辺の有料駐車場を使用するといいたろう。北海道庁は赤レンガ作りの観光スポット。日本の明治時代がそのまま残っている。ここも見逃さない。

## オリンピックの夢

1972年の札幌オリンピックで使用され、先日モノレール世界選手権が行われた大倉山ジャンプ台。札幌市中心から西5kmにあり、夏でもリフト営業している。ジャンプ台の上でしか味わえない、札幌市街地まで飛んでいけそうな絶叫の迫力を体験して欲しい。

日本が金銀銅メダルを独占した伝説のノーマルヒル競技会場は「宮の森」。大倉山から南へ1.5kmだ。

オリンピックの中でオリエンテーリング競技が実施され、そこで日の丸を掲げる夢はいつになったら叶うだろうか。

## ジャガイモカーポローディング

翌日はオリエンテーリング全日本大会。おやつにもカーポローディングが欠かせない。札幌からルスツに向かう道の駅「中山峠」に立ち寄ると、北海道の名物ジャガイモを使った「峠のあげいも」に出会える。標高836mの中山峠からは蝦夷富士とも呼ばれる羊蹄山の美しい姿を望むことができる。

## ルスツリゾート

全日本大会の会場となるルスツリゾートは巨大リゾート地。冬はスキー、

夏はゴルフ場がその中心。遊園地の絶叫ループコースターからは翌日のテレビが上下逆さまで見えるかも。

レースは早朝のスタート時間が設定される。なるべくルスツリゾート付近への宿泊をオススメしたい。夜のバイクキングでカニに絶叫だ。

## 支笏湖と苔の洞門

オリエンテーリングを楽しんだら一気に千歳空港に戻りたいが、時間に余裕の運転でお願いしたい。道警察名物「ネズミ捕り」に絶叫しないために。

ドライブの途中に巨大な湖が見えてくる。田沢湖に次ぐ深度を誇る支笏湖だ。深さゆえ北海道にあっても凍らない日本最北の不凍湖だ。

神秘的な支笏湖の横に「苔の洞門」という天然記念物がある。国道近くの駐車場から洞門入口まで徒歩15分。現在洞門の中に入ることはできないが、入口から中を見学することはできる。

この周辺はヒグマが目撃される場所。運が悪ければ遊歩道が絶叫マシンとなり、疲れた体にムチ打って全力ダッシュでもう1レグ走ることになる。

## 北海道の味

北海道に来てラーメンを外すなんてありえない。だが1泊2日では限界がある。そんな時は千歳空港出発フロアのラーメン道場へ直進すべし。北海道各地からのラーメン店が出店している。

レースで汗を掻いてからレンタカーを手放すまでずっとガマンしていたアルコールも千歳空港から解禁。北海道の名酒「男山」「国士無双」「国稀」・・・。北の大地でのレース反省を肴に仲間と語らえば、忘れられない思い出となって、あなたもいつしか絶叫北海道の虜になっているだろう。



(木村佳司)